

政策 5

美しく良好な環境の保全

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今後10年間の政策の方向性

将来の県民に良好な環境を引き継ぐため、「自然環境の保全」や「健全な水循環の維持・回復」を推進するとともに、温室効果ガス排出量実質「ゼロ」を目指し、地球温暖化対策を推進します。

目指す将来像と現状のギャップと課題

- 1 失われつつある群馬の自然
- 2 遅れている水質環境の改善
- 3 進行する地球温暖化



取組施策

施策 1 豊かで美しい自然環境の保全・再生

施策 2 健全な水循環の維持・回復

【予算額】2,244,860千円

施策 3 地球温暖化対策の推進

施策 1

豊かで美しい自然環境の保全・再生

取組 1 良好な河川環境の保全・形成

(1) 多自然川づくりの推進

河川が本来有している生物の生息・生育環境の保全や再生に配慮するとともに、地域の暮らしや文化とも調和した川づくりを推進します。

① 河川の生態系や風景を保全

瀬や淵などのみお筋は、水生生物の生息と密接に関わっています。

河川の流れの変化、水際の再生、河畔林等を保全・創出することで生物の生息・生育環境や風景の保全・再生を図るため、河川整備の際には、瀬や淵などの「みお筋」の保全に配慮した計画とします。



瀬と淵を保全した河川整備(烏川 高崎市)

② 親しみやすい河川環境の整備

身近な自然環境である河川に気軽にふれられるように、いつでも水辺に降りられる緩傾斜護岸、斜路や階段工などにより、魅力的な水辺空間を整備します。



緩傾斜護岸(男井戸川 伊勢崎市)

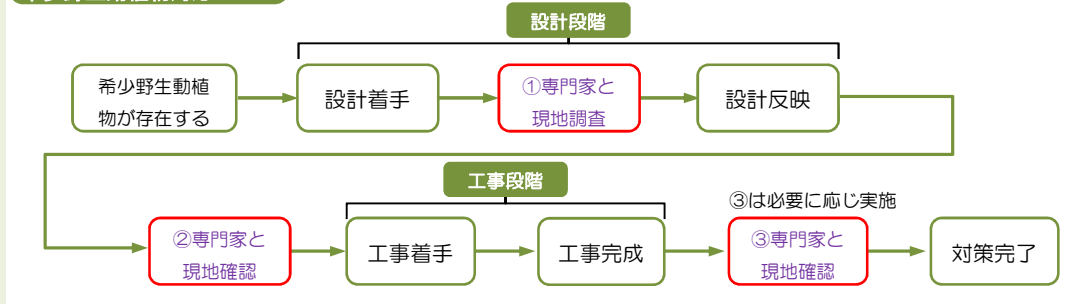
取組 2 多様な生態系の保全・復元

(1) 希少野生動植物に配慮した河川改修

希少野生動植物の生息・育成・繁殖する場の再生など自然環境の保全・創出を図る河川改修を行います。

特に計画・設計策定段階から希少野生動植物の有無を確認し、希少野生動植物に配慮した整備を行います。

希少野生動植物対応フロー



(2) 自然再生に向けた取組

県立多々良沼公園では多様な生態系の保全・復元と美しい景観を創出することを目的に、地域住民やNPO、学識経験者等と協力し、自然再生に向けた取組を積極的に進めています。

また、河川内における魚の遡上の妨げとなる段差を解消し、魚類をはじめ生物が成育しやすい環境への改善に取り組みます。

取組1 良好な河川環境の保全・形成

(1) 多自然川づくりの推進

【河川の生態系や風景を保全】

一級河川 多々良川（邑楽町）の河川改修に合わせて、護岸の勾配を緩くしたり、瀬や淵を残したりすることで、生物の生息・生育環境を保全します。

【親しみやすい河川環境の整備】

身近な自然環境である河川に気軽にふれあえるように、一級河川 利根川（みなかみ町）において、みなかみ町と連携し、道の駅「みなかみ水紀行館」と清流公園、利根川を一つのエリアとして、人々が水辺に親しみやすい空間を創出します。

一級河川 多々良川



多自然川づくり 現在の状況

みなかみ町 かわまちづくり



現在の状況

取組2 多様な生態系の保全・復元

(1) 希少野生動植物に配慮した河川改修

希少野生動植物の保護育成のため、一級河川 男井戸川（伊勢崎市）の調節池の中に設けたビオトープにおいて自然環境再生調査が行われています。

(2) 自然再生に向けた取組

県立多々良沼公園において、多様な生態系の保全・復元と美しい景観を創出することを目的に、地域住民やNPO、学識経験者等と協力し、自然再生に向けた取り組みを引き続き進めます。

一級河川 男井戸川(調節池)



ビオトープ 現在の状況

施策2 健全な水循環の維持・回復

取組1 地域の特性を踏まえた汚水処理人口普及率の向上

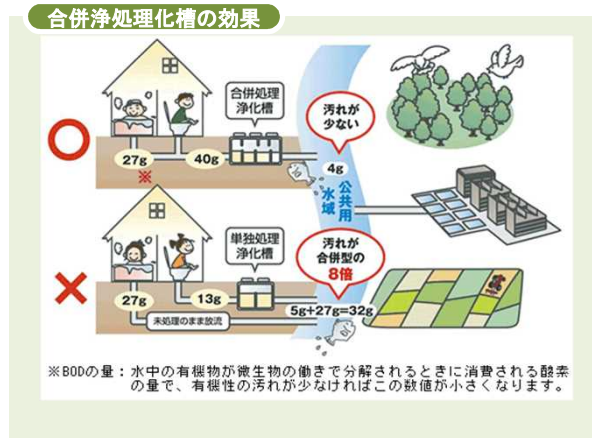
公共用水域の水質を保全し、県民の生活環境を守り、首都圏に良質な水資源を供給するため、県と市町村の連携により、汚水処理施設整備を推進し、汚水処理人口普及率の向上を目指します。

(1) 下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスによる効率的・効果的な整備の推進

下水道や農業集落排水による整備では、非効率となる区域を合併処理浄化槽による整備区域に変更することで、汚水処理施設の最適な配置計画への見直しを行い、効率的・効果的な汚水処理施設整備を推進します。



単独処理浄化槽は、トイレ以外の生活排水を未処理で排出し、環境に大きな負荷をかけています。この環境改善を図るため、関係団体や市町村と連携して、住民への効果的な広報啓発や補助金の活用による住民負担の軽減を図り、合併処理浄化槽の整備を促進します。



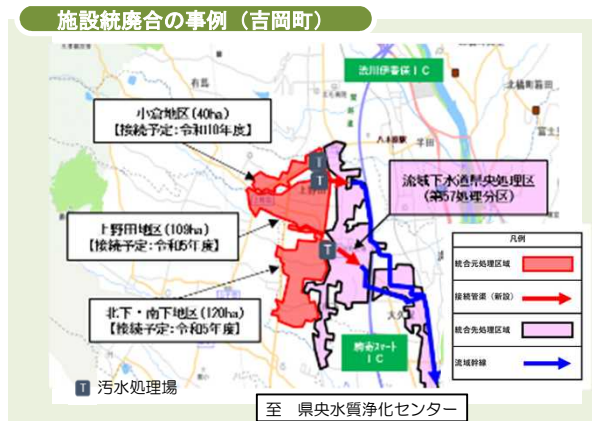
(3) 市町村への支援

市町村と県で設置している「群馬県汚水処理促進協議会」において、整備の効率化、コスト縮減などを提案・検討するとともに、市町村の施設整備に対しての財政的支援を継続し、更なる汚水処理施設整備の促進を図ります。



(4) 施設の統廃合による汚水処理施設の維持管理費の負担軽減

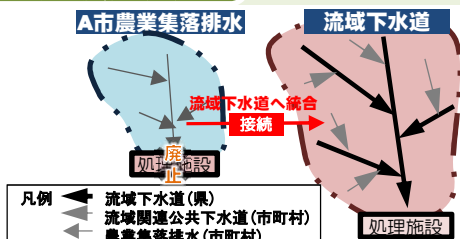
市町村が管理する老朽化した農業集落排水施設やコミュニティプラント等の汚水処理施設の流域下水道施設等への効率的・効果的な接続を検討し、汚水処理施設の維持管理費の負担軽減を図ります。



(5) 汚水処理における広域化・共同化

人口減少に対応した汚水処理施設の維持管理業務に係る人員の削減や維持管理コストの削減のため、市町村を越えた「広域化・共同化計画」を策定し、市町村間での処理施設の統合や、複数市町村による維持管理や事務の共同化を検討します。

汚水処理施設の広域化

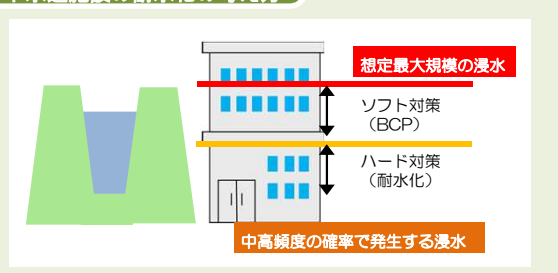


・ A市農業集落排水処理場を廃止し、接続管の整備により流域下水道へ統合

(6) 下水道機能維持のための下水道施設の耐水化等の推進

近年の頻発化・激甚化する気象災害を踏まえ、重要なライフラインの1つである下水道施設については、河川氾濫等の災害時においても一定の下水道機能を確保し、下水道施設被害による社会的影響を最小限に抑制するため、耐水化等の対策を推進します。

下水道施設の耐水化の考え方



令和6年度

主要事業の概要

取組1 地域の特性を踏まえた汚水処理人口普及率の向上

汚水処理人口普及率の向上を目指し、県と市町村の連携により、汚水処理施設整備を推進します。

(1) 下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスによる効率的・効果的な整備の推進

汚水処理人口普及率の向上に向け、佐佐処理区（伊勢崎市）における平塚水質浄化センターの増設に向けた設計及び伊勢崎幹線管渠整備を推進します。



管渠整備 施工状況

伊勢崎幹線管渠整備

(2) 合併処理浄化槽への転換促進

単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進を図るため、住民負担の更なる負担軽減が図れる補助金等の制度周知や活用を促すことにより、市町村の取組を支援します。

合併処理浄化槽への転換



合併処理浄化槽 施工状況

(3) 市町村への支援

市町村の汚水処理施設整備を推進するため、引き続き、汚水処理促進協議会での意見交換や市町村事業への支援を行います。

(4) 施設の統廃合による汚水処理施設の維持管理の負担軽減

より効率的・効果的な汚水処理施設の運用に向けて、桐生市、太田市、吉岡町などで施設の統廃合を検討します。

(5) 汚水処理における広域化・共同化

人口減少に伴う使用料収入の減少や既存ストックの大量更新期の到来など、汚水処理施設の事業運営に係る多くの課題を解決するため、「広域化・共同化計画」に基づき、人材育成や災害時対応の共同化などの取組を推進します。

汚水処理施設の広域化



検討中の汚水処理施設

(6) 下水道機能維持のための下水道施設の耐水化等の推進

下水道施設は被害時でも止められない重要な社会インフラであるため、利根備前島水質浄化センター等で出水時の耐水化に向けた設計を実施するとともに、外部からも運転状況等を支援できる遠隔情報確認システムを構築します。

下水道施設の耐水化



防水板 設置状況